作楽

第232号

令和3年11月10日号

社会福祉法人　一誠福祉会
〒441-8066　豊橋市王ケ崎町字上原1番地145
TEL(0532)48-5111・FAX(0532)48-5112



「敬老の日」に滝川理事長から花束を受け取る入所者様　於　特別養護老人ホーム 麗楽荘

目次

決意表明……2
変える勇気と変わらぬ心で　特別養護老人ホーム作楽荘 荘長　藤原　運也
法人新体制……2
歴代施設長のたすきを受け取って……3　特別養護老人ホーム麗楽荘 荘長　鈴木　恒也
敬老の日の行事……4～5
◎作　楽　荘　長寿祝賀会を終えて　介護士副主任　白井　康裕
◎ベルヴューハイツ　長寿を祝おう　介護士　今泉　紫音
◎麗　楽　荘　式典、生中継　副荘長　相山由里子
回顧録　木の花会(職員福利厚生会)旅行の記憶6～7　社会福祉法人 一誠福祉会 総務部長　青山　勉
キャリアパス　資質向上のためのリモート研修の活用8　特別養護老人ホーム斯楽荘 荘長　白井　覚
リハビリ講座　変形性膝関節症その③……9　老健ベルヴューハイツ 理学療法士主任　杉本　昌洋
特技披露　こだわりの野菜作りで健康食生活10　特別養護老人ホーム奇楽荘 介護士主任　夏目　佳和
施設だより……11～18
＊作　楽　荘　ぶどう狩り行事　介護士　櫻下　壮志
日頃から防災意識を持って　管理栄養士　柵木　祐紀
＊美光ハイム　手作り美光ぶどう園　相談員　一番ケ瀬智佳子
＊倶　楽　荘　安全対策担当者養成研修　介護士主任　竹本　俊幸
＊GHくらら　感謝を言葉にして　介護士　土田　真恵
＊斯　楽　荘　ユニットの誕生日会　介護士　小野　貴子
＊ベルヴューハイツ　秋祭り　介護士　篠原　京子
＊ベルヴューハイツデイケア　手作りの敬老会　介護士　小野　文枝
＊DSC吉かわ　吉かわの敬老会　准看護師　居澤　克枝
＊麗　楽　荘　壁面工作で紅葉狩り　施設ケアマネ　彦坂麻梨奈
＊デイサービス麗楽荘　彼岸に咲くから彼岸花　介護士　神谷　晃紹
＊和光ハイム　クラフトバンド教室②　相談員　川上　裕之
＊GHうらら　彼岸おはぎ作り　介護士　谷口　秀代
＊奇　楽　荘　施設内研修に参加して　看護師副主任　瀬野尾紀子
＊GHきらら　百寿のお祝い　介護士　田中　綾乃
施設日誌【職員募集中】／編集後記18～20

UD FONT　見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

決意表明

変える勇気と変わらぬ心で

特別養護老人ホーム作楽荘　荘長　藤原運也

特別養護老人ホーム作楽荘の荘長を拝命して、はや七ヶ月が経ちました。

この間、爆発的な新型コロナウイルス感染拡大により、愛知県内では短期間に二度の緊急事態宣言が発出されました。

施設内では大変ピリピリとした空気がただよい、外部との接触を極力抑え、消毒・換気も頻繁に行なうなど、厳戒態勢を敷きました。入所者様やご家族様には制限を強いることとなり、また、職員にも自粛・自制を強く求めました。

慎重に慎重を重ね、臆病なぐらいのルールを敷きそれを徹底しました。それにより減収するなどの問題が出てきましたが、とりあえず施設での感染を抑えることができています。今後も気を引き締めていくことには変わりませんが、情勢をみながらバランスよく前進できるよう、職員一丸となって頑張る所存です。

さて、誰も予想しなかった未曾有の事態に生活様式が一変してしまいました。この困難につい下を向きがちですが、ここはチャンスだと思い大胆に変化を求め行動していくことが大事であると腹を括っています。

そして、機関誌「作楽」229号の作楽荘荘長就任の所信表明で、「先人の歴史を受け継いで、今度は私が道しるべを示せるよう、心がけたい」と述べさせていただきましたこと、これも紛れも無く私の信条であり、根っこにある変わらぬ心です。

この十一月一日付けであらたに特別養護老人ホーム倶楽荘（地域密着型）の荘長も拝命しました。定員二十九名の小規模施設とはいえ、しっかり管理・監督しなければいけません。今以上に努力を惜しまず、法人の発展、それに関わる皆様の幸せをお届けできるよう、粉骨砕身で頑張る所存ですのでご指導の程、宜しくお願い致します。

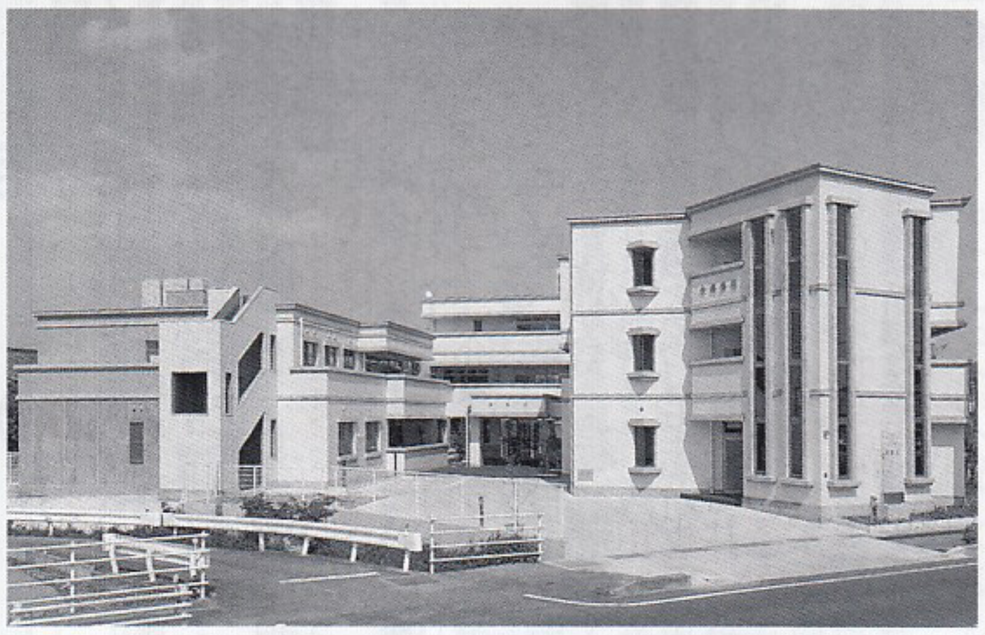
法人新体制

令和三年十一月より左記のとおり、特別養護老人ホーム倶楽荘・斯楽荘荘長の交代がありました。なお、後藤英夫本部長は引き続き法人本部長、ケアハウス美光ハイム施設長は続投です。法人本部機構及び施設運営の強化のためさらに邁進していく所存です。

記

新倶楽荘荘長　藤原運也

新斯楽荘荘長　白井覚



特別養護老人ホーム 倶楽荘

歴代施設長のたすきを受け取って

特別養護老人ホーム麗楽荘 荘長　鈴　木　恒　也

（福）一誠福祉会に入職したのが、平成11年でした。特養介護士からキャリアをスタートし上司や同僚にも恵まれたお陰で、ショートステイの介護士やグループホームの計画作成担当者、老人保健施設での相談員、特養副荘長、本部事務次長など、多種多様な職種・業務をさせていただき、経験や知識を磨くことができ、人としても成長する事ができました。しかし、まだまだ未熟な面が多々あり、今なお成長途中の段階ではあります。

そんな私に法人の若返りを図る方針と相まって、今年の7月から特別養護老人ホーム麗楽荘及び特別養護老人ホーム奇楽荘、ケアハウス和光ハイム施設長の大役を仰せつかりました。

当初は責任の重さに気持ちが押しつぶされそうでしたが、さらに成長できるチャンスだと前向きに捉え腹を括ることができました。

麗楽荘に赴任後、まず職員とのコミュニケーションをとることに時間を費やしました。もちろん、以前からもそれなりにコミュニケーションをとっていましたが、他の業務を優先しがちで、じっくりと時間をとることができませんでした。

それぞれの職員と会話する中で感じたことは、皆それぞれ、表現は異なりますが、働く環境を良くしたい、お年寄りにより良いサービスを提供したいという想いが強く伝わってきました。

私の役割の一つとして、その様な想いが詰まった事業計画・予算をそれぞれの部署で滞りなく進めていけるようにサポートすることだと考えます。

他にも課題は山積ですが、これまでの歴代施設長が築いてきた麗楽荘グループの歴史を大切に、職員一丸となって更に発展するよう努めていく所存ですので、ご指導の程、宜しくお願い致します。



グループホーム きらら



特別養護老人ホーム 奇楽荘



特別養護老人ホーム 麗楽荘

敬老の日の行事

◎作楽荘 長寿祝賀会を終えて

介護士副主任　白井　康裕

今年もご来賓の招待を取りやめ、関係職員数名と入所者代表の方9名と、規模を縮小しての長寿祝賀会の開催となりました。

そのような中でも、謝辞を読む役割を任せられた入所者様は、数日前より謝辞の内容が書かれた紙を沢山用意され、内容を読み込んで本番に備えようとされる姿が見受けられました。前日には相当読み込まれたのか、ボロボロになった紙が車イスの脇に挟まっていたため、新しく紙を用意させていただきました。本番当日、その方に声をかけたところ、緊張した面持ちで、「緊張するね」と普段見られない表情をされたのが印象的でした。

理事長の挨拶から始まり、粛々と式典が進行していきました。最後に謝辞を読まれる入所者様は、文章を読まれる際に緊張のせいか声が上ずりながらも真剣な表情で読み上げられておられました。謝辞という大役が終わった後、すっかり緊張が解けたのか、写真撮影では最高の笑顔でカメラに納まっていました。

長寿祝賀会は職員だけでなく、入所者様にとっても日頃あまりない緊張感を受けることが出来るようで、双方にとってよい刺激のある時間が過ごせたのではないかと感じました。

今回、式典に参加ができなかった方も終了後に紅白饅頭を一人一箱ずつお渡ししました。また後日、昼食時に「敬老会特別メニュー食」を楽しまれ、大変盛況の様子でした。

来年はより多くの入所者の皆さんが参加できればと思います。



百寿のご長寿を祝う

◎ベルヴユーハイツ 長寿を祝おう

介護士　今泉　紫音

今年もコロナの影響でデイケアと入所（2階・3階）で、別々に敬老会を行いました。2階では敬老会の準備で紅白幕を広げるため入所者の皆さんに移動してもらいましたが、何が起きるのかと驚きと不安でそわそわされる方が多かったです。紅白幕が気になったのか、普段ご自分からあまり動かれない方が立ち上がって触ろうとしたりしていて、好奇心でこんなにも動けるのだなと、驚きました。

敬老会が始まった途端にそれまでのざわつきも静かになり、ウトウトしていた方も目を開いて待っていました。

式典開会の宣言で始まり、次いで理事長の挨拶。その話に共感を持ちうなずく方も多くいました。記念品贈呈では入所者代表の方が本番直前まで不安そうにされていたのですが、本番になると先ほどまでの様子とは異な

り、堂々と記念品を受け取られていました。また入所者謝辞では緊張しながらも一生懸命に読まれている様子に心打たれました。

式典の中で現在の世界最高齢の方が118歳の日本人だと知って、入所者様も職員も驚いていました。同じような施設で暮らされており、午前中はオセロゲームや計算ドリルなどをしているそうです。頭を使う事はとても大事なんだと、改めて痛感しました。

式典の終了後、アトラクション。定期的に当施設で和太鼓の演奏をして下さるボランティアグループ「鼓流」の映像がスクリーンに映し出され、それを視聴しました。これは例年式典当日に演奏して下さる鼓流の皆さんが、わざわざ録画してくださったそうです。皆さん大変感激されていました。

来年はコロナが収まり、一同に会して式典が行なえたらと願うばかりです。

◎麗楽荘 式典、生中継

副荘長　相山 由里子

昨年同様、ご来賓や外部からのアトラクションを招待することが出来ず、規制の中で行われた長寿祝賀会ですが、だからこそ職員のポテンシャルが発揮される祝賀会になると期待を込め、和光ハイム・特養入所者様の笑顔を想像しながら準備を進めました。

令和３年９月20日長寿祝賀会が４階で行われると、麗楽荘１階食堂の白い壁にプロジェクターで式典の様子を映し出したのを皮切りに、麗楽荘３階デイルーム、グループホームきらら・奇楽荘の４か所で中継を結びました。

難聴の入居者様は、大きな画面に映った様子を見て、長寿祝賀会の式典を理解されていました。

式典生中継を準備している際にはグループホームきららの入居者様と画面越しに挨拶を交わし、施設ごとのオンライン交流が出来ました。

午後からは、海野主任が、各フロアをまわり、「バルーンアート」で入居者の皆さんをはじめ、職員まで笑顔にしてくれました。

和光ハイムの入居者様は、体験型アトラクションのバルーンで「犬」作りを行いました。職員が恐る恐る風船をひねると「パンッ」と勢い良く割れ、その瞬間驚いた歓声とともに笑い声が溢れました。こわごわ風船を触る職員をよそに、皆さんはためらうことなく、見ているこちらが心配するほど力を込めてグイグイひねり、豪快にバルーンアートを満喫していました。

因みに新城市の最高齢は男女とも107歳ですが、その男性とは麗楽荘に入所されている方です。今後もうらうらかに過ごして頂きたいと思っています。



雰囲気まで伝わります

回顧録

木の花会（職員福利厚生会）旅行の記憶

社会福祉法人一誠福祉会　総務部長　青山　勉

新型コロナウイルス感染拡大により、大打撃を受けた業界の一つに、観光業界があります。観光地は閑古鳥が鳴き、お土産屋さんは閉店ガラガラ。観光バスも一台も走っていない惨憺たる状況が連日報道されていました。

個人的に旅行に行きたくても行けない、そんなストレスがずーっと続いています。当然、今まで毎年フツーに実施していた職員旅行も昨年に続き、今年も中止となりました。

わが法人の職員旅行は、昭和六十三年四月に第一号施設、作楽荘がオープンした五年後の平成四年に初めて実施されました。



作楽荘の美女軍団（兼六園）第1回職員旅行

行き先は京都・福井方面の兼六園や永平寺。当時の職員は総勢三十名ちょっと。二班に分かれての一泊二日のバス旅行でした。その頃は措置費時代でしたので、費用を一部施設会計から拠出してもらうには研修を絡めなくてはいけません。よって行きの道中で同じような施設を見学させていただき研修とさせていただきました。とどのつまり職員研修旅行と記載し、そう呼ばなくてはいけませんでした。

本来の施設見学のあるべき姿、制服を着て粛々と見学をさせていただくのではなく、旅行の道中ですので、私服で慌しく見学させてもらったかと思います。もちろんテンション高めで。大変迷惑をかけたと思いますが、当法人もそのような研修を受けましたのでおあいこです。当時はまだ全国的に同種類の施設が少なかったため、その分横の連携はしっかりできていて、よい学びとなりました。

その後研修と切り離し、職員旅行として毎年の恒例行事となっていきました。今までの実施回数は二十五回、地域別でみると、東海方面が八回、関西方面が七回、北陸・関東方面が各五回となっています。



大涌谷で記念撮影。ハイ、チ～ズ！

行き先や内容ついては、当初は事務が中心となって決めていましたが、平成十二年、措置費時代から介護保険時代に突入と

同時に、職員全体でもっと意見が反映されるようにと職員福利厚生会を木の花(このはな)会に名称を変え、新しい体制でスタートしました。この名称は故滝川一興会長が名付け親です。規約も出来、毎年総会も開き、各施設（当時３施設）から幹事を出して運営されました。


「股のぞき」ができて感激(天橋立)

丁度この頃から、職員数も増えたので三班とし、平成十六年から四班、そしてなんと平成二十四年から五班となり、いよいよ幹事さんたちは大変になりました。さらに、令和元年では職員の希望を反映させた企画も登場しました。それは勤務の都合や家庭の事情で旅行に参加できなかった職員のための日帰り旅行です。そのコースは「京都方面、舞妓さん京舞鑑賞と世界遺産・下鴨神社」。大変好評で、その年は今までの企画の中で一番参加者が多かったです。



カラオケで大盛り上がり（石和温泉）

この職員旅行の目的は、名勝・旧跡の探訪と学び、そして一番大事なことは、施設間の交流と親睦を図ることです。

職員旅行に行った際は、必ず職員二名ほど、旅行のレポートをこの機関誌「作楽」に掲載しています。そのレポートも皆さんの思いがしっかりと書かれており、「旅行から帰ってきた各職員の表情が、いつもより一段と明るく感じられました」、「普段顔を合わせることのない、他施設の職員の方と交流できたり、同じ施設の職員とゆっくり語り合うことができ、大変楽しく、意義のある旅行となりました」との最後の結びで幹事さんも報われています。


歴史を肌で感じる京都御所

当法人の理事長、副理事長、常務理事、監事のＶＩＰもご参加されることもあり、日頃お会いすることのできない職員にとっては良い機会ともなっています。

感動あり、珍事件ありと、道中のハプニングはつきもの、心身ともにリフレッシュできる職員旅行を来年は復帰させたいですね。もちろん職員の意見は大事にして！

キャリアパス

資質向上のためのリモート研修の活用

特別養護老人ホーム斯楽荘 荘長　白井　覚

高齢者施設・事業所では利用者様に安心・安全に利用していただくために、職員の資質向上が必要不可欠です。

コロナ禍の影響により、ここ一年半ほど受講者が集まり対面で行なう研修形式がほとんどなくなり、ＺＯＯＭ等を活用したリモート研修が主流になっています。私も何度か外部主催のリモート研修やリモート会議に参加したことがあります。その中で、一方通行の情報発信ならこのリモートは大変有効的な手法だと感じました。

一方、難しい内容での講義や討議では意見が言いにくい雰囲気であるため、思うように意見を言えずに終わってしまうなどのデメリットもあり、その点はうまく使い分けていく必要があると思います。

こうした流れの中、主流のアウトソーシングや外部研修だけでなく、法人内においてもこの機に、リモート研修の開催の拡大を模索しています。

豊橋市に五拠点、新城市に三拠点ある施設・事業所に職員は点在し、総勢三五〇人の大所帯です。まずはリモート研修ができるようにパソコン、ＺＯＯＭ等のアプリ、リモートに適した場所の確保を各施設で準備しました。

職員は不規則な勤務で業務に携わっておりますので、職員の都合を合わせて研修を行なうことは難しいため、人数は少なめで数回に分けて行なうことにし、日時をあらかじめ決めて各施設に通知し、参加できる日程のところで参加していただきます。職員は多職種になりますので、業務に合わせて研修内容も介護・医療・リハビリに留まらず、財務や労務、はたまた接遇など幅広く職員に道標を示せるよう、様々な内容を考えていく必要があります。

講師役も職員がもう少し拘わって行なうことも視野に入れています。講師役をする職員にとっては研修内容の構成、資料作り、相手に理解してもらえるような伝え方等の勉強にもなります。また、リモート研修では通常の対面研修のやり方では参加される方にしっかり内容が伝わらない可能性もありますので、情報を発信する側も資料の提示の仕方やＺＯＯＭ等のリモート媒体の操作方法をよく理解して、画面上で受講者に対しリードできるようにしておくことが大切です。

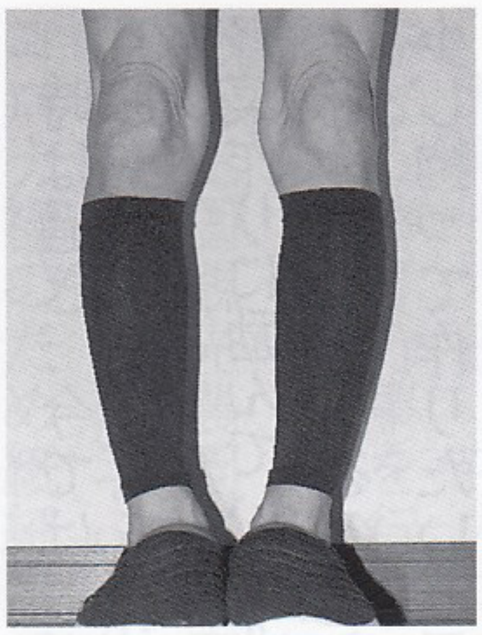
せっかく行なう研修ですので、参加していただく方にとって少しでも有意義な事を持ち帰ってもらえるようにしていきたいです。

リハビリ講座

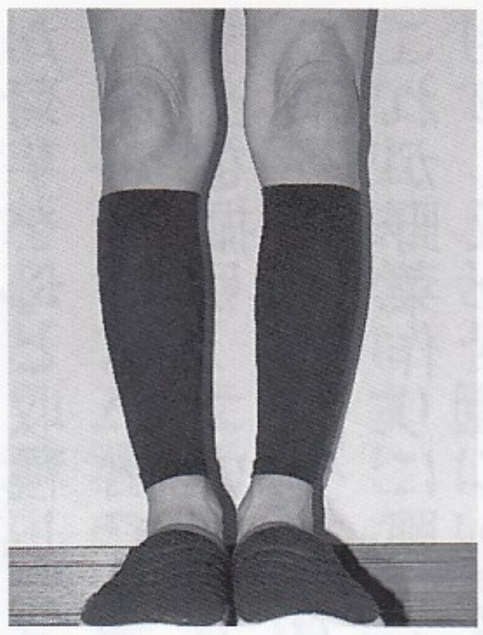
変形性膝関節症 その③

老健ベルヴューハイツ 理学療法士主任　杉 本 昌 洋

いきなりですが、写真は私の脚（あし）です。



①



（装着前→と装着後←）

②

すね毛は全く無いのですが少しでもきれいに見えるようにサポーターをしています(笑)。日頃は静脈瘤予防のために着用していますが、寄る年波には勝てず、紫色の極細ミミズみたいなのが大量にできています。

さて、①はインソール装着前、②は装着後です。②では左右の膝の隙間が①より狭くなっているのがお分かりいただけると思います。装着で○脚の改善がみとめられます。そして装着した靴やサンダルの踵のすり減り具合は、外側の方がやや多くすり減る程度になっています。若い頃のように極端に外側がすり減ってしまうということはなくなりました。それなりの効果はあると思っています。

整形外科では左の写真のような足底装具を処方されることがあります。



足底装具

痛みが片方の膝だけでも両膝に変形があれば左右それぞれに着けます。痛む方をかばって歩いていると、もう片方も痛みが出現することも珍しくありません。

これは義肢装具士が足の形に合わせて作るので、適合性の良いものが作られます。そのためより効果が期待できます。室内においても使用できます。

ただし、靴のサイズに、ゆとりがなければ履けないので、お気に入りの靴で外出できないことがあります。装着するとこんな感じです（左写真）。ちなみに私の足ではありません。



足底装具を装着

日本人では変形性膝関節症は50歳以上の2人に1人に、女性は男性の2倍あるとされています。膝の調子が思わしくない場合は、早めに整形外科を受診して下さい。

特技披露

こだわりの野菜作りで健康食生活

特別養護老人ホーム奇楽荘　介護士主任　夏目佳和

幼い頃、庭の隅に出来た菊芋を母と収穫したのが懐かしい思い出です。

土を掘り、ゴロゴロ出て来る菊芋は特別な物で、これが野菜作りに興味を持ったきっかけだったように思います。

時は過ぎ、今では近所で畑を3か所借りて日々野菜作りに励んでいます。

折角野菜を作るのなら少し拘って作りたいと思い、種は固定種や在来種のものを選び、基本は無肥料で、野菜によっては山から集めた落ち葉や無農薬栽培のお米から出た米糠を使って栽培しています。

そして野菜と並行して作っているのがキノコです。我が家の冬の暖は薪ストーブです。これも田舎暮らしの良いところで、薪は色々な人から、「木を伐ったから持ってって」と声を掛けてもらえます。中にはキノコ栽培に適した木をもらうこともあり、その木で椎茸、ヒラタケ、ナメコ、キクラゲを栽培する事にしました。

キノコはおが屑に米糠などを混ぜて作られた、人工の培地の菌床で育てるのがほとんどです。木に直接菌を打って育てるのが原木栽培と言います。菌打ちは地味で疲れる作業です。しかし原木から顔を出すキノコはとても立派で、普段何気ない生活の中では中々見られない贅沢なものです。

十年近く前から、千郷小学校前にある「新城旬のひろば」で収穫した野菜を販売しています。ここで売っている野菜の9割以上が無農薬・無化学肥料栽培です。来店されるお客様は、子供がアトピー性皮膚炎などのアレルギー症状や化学肥料を使った野菜は苦い、動物の糞の肥料を使った野菜はお腹が下るなど、食と健康の繋がりをとても重要に考えています。だから生産者側も信頼を裏切る事の無いよう、栽培方法を誰でもわかるように公開しています。

今は大生姜やキクラゲを出荷しています。原木のキクラゲは珍しさもあって毎回ありがたいことに完売しています。もちろん売れ残る事もありますが、中には夏目さんの作った野菜をと求められることもあり、本当にやりがいを感じます。

人から喜ばれ求められる一生続けられる趣味を見つけられ、自分は幸せだと思います。



キクラゲの原木栽培

施設だより

作楽荘

○ぶどう狩り行事

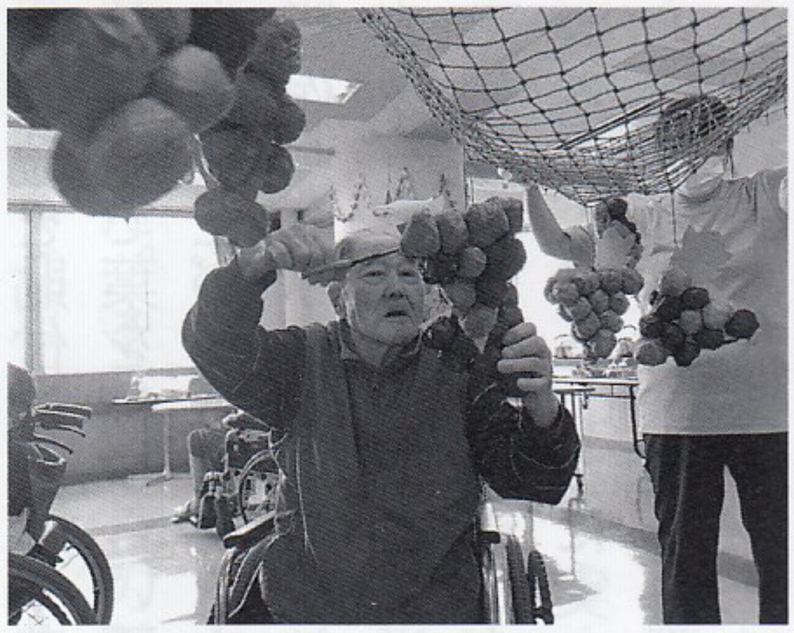
介護士　櫻下　壮志

九月十六日、荘内にてぶどう狩り行事を行ないました。例年は岡崎市にある三国観光農園まで実際に足を運ぶのですが、コロナ禍のため紙細工で作ったぶどうを沢山吊るして、ぶどう園にいるような工夫をしました。

ぶどう狩りの歴史は、戦後間も無く養蚕に変わる作物として三河の環境に合ったぶどうが注目されたのが始まりだと言われています。本物のぶどうの手触りや香りなどは体感できなかったものの、模造品を収穫する雰囲気を楽しんで頂けたと思います。入所者様の顔には一様に笑顔が溢れていて、私もとてもうれしくなりました。

最後に本物のぶどうを提供し、召し上がって頂きました。「甘くて美味しい」その味に皆さんの笑顔が更に増しました。

暮らしの中で少しでも多く笑顔が見られ、楽しく元気に過ごせるよう、これからも創意工夫をこらしていきたいと思います。



本物よりも立派だね！

○日頃から防災意識を持って

管理栄養士　柵木　祐紀

今年、消防本部より警防計画作成のための視察があった際も、館内は迷ってしまいそうな構造なので職員は日頃から有事にどこへ避難しないといけないかを把握しておく必要があること、また消防署として有事の場合、人命が最優先になるので救出が必要な人の情報を一番知りたいとのご助言やご指導を頂きました。

日頃から入所者様が何名在所かを把握しておき、有事には、「そこに負傷者何名」「どこに避難したか」を迅速に消防職員に伝えることが大変重要なことだと分かりました。

そのことを踏まえ、十月十四日に実施した防災訓練では、火災の発生や負傷者の有無、建物の倒壊の有無、避難経路、報告内容などを部署ごとや各自で考えて取り組むことができました。

定期的に防災訓練を実施することはもちろん大切ですが、日頃から各自防災意識を持ちそれを高めることで、さらに入所者様の生命・安全を守ることができるのです。



初期消火も大切です

美光ハイム

○手作り美光ぶどう園

相談員　一番ケ瀬　智佳子

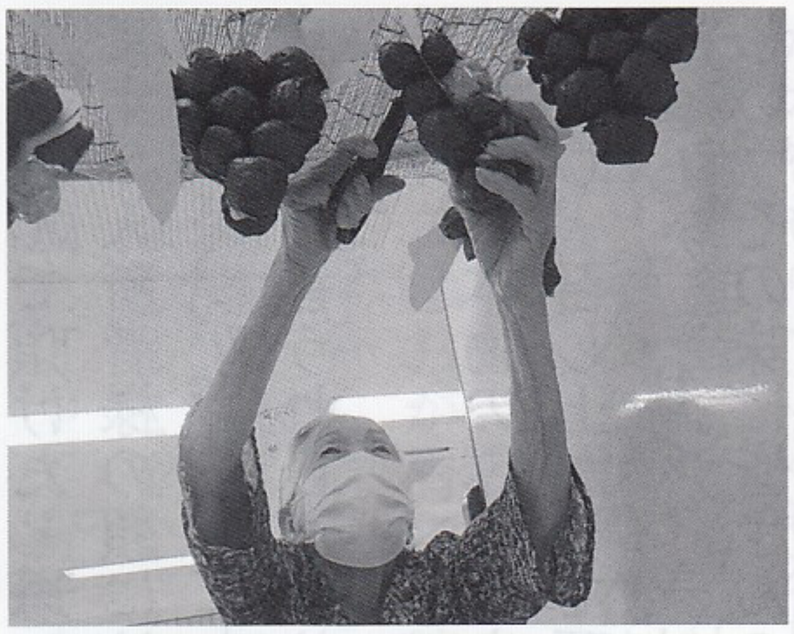
朝夕の風に涼しさを感じる季節到来。秋の恒例人気行事のひとつにぶどう狩りがあります。この状況下、室内で楽しめるぶどう狩りを立案し実施しました。



一粒ごと丁寧に丸めて

先ずは手作りぶどうの作成から。新聞紙を丸め、お花紙で包み、紫色の粒を作ります。色画用紙にその粒を貼付け、緑や黄緑の紙で葉をあしらい房の出来上がり。丹精込めて作ったぶどうをすだれとネット網にくくり付け、ぶどう棚が完成。正に大自然の中でたわわに実った『美光ぶどう園』が再現されました。

手作りぶどうをハサミでもぎ取り体感。実際と遜色はなく皆さん感激されていました。その後本物のぶどうと交換し、秋の味覚を満喫されました。



本物に負けていないよ

倶楽荘

○安全対策担当者養成研修

介護士主任　竹本　俊幸

令和3年度より介護保険施設の運営基準において、「安全対策担当者」を選任することが義務化されました。これは転倒や誤嚥といった介護事故の予防を強化するための取り組みです。介護報酬にも「安全対策体制加算」が新設され、安全対策の体制が整備されている施設を評価することで、介護事故の防止をより一層強化していく狙いがあります。

この加算の算定要件としては、次の①～③のいずれも満たしていることです。①外部研修を受けている担当者を設置している。②施設内に安全対策部門を設置している。③組織的に安全対策を実施する体制が整備されている。

①の担当者設置の為、9月に老人福祉施設協議会主催の研修をeラーニングで受講致しました。5時間ほどの講義をPC上で受けた後、習熟度確認の問題を解き、最後に自ら修了証をプリントアウトします。初めてのeラーニングでしたが、名古屋の研修会場に行く手間も省け、空き時間に学習が出来る点が良かったです。

今後は「安全対策担当者」としての自覚を持って、施設の事故防止に全力で取り組んで参りたいと思います。

GHくらら

○感謝を言葉にして

介護士　土田　真恵

気持ちの良い秋風が吹きわたる頃となりました。今年は9月20日が敬老の日でした。２００２年までは9月15日と日付が決まっており、それを覚えていた入居者様が、「敬老の日はまだこないの?」「いつが敬老の日なの?」と言っていました。

楽しみに待っていた敬老会。お抹茶と甘いお饅頭を「おいしいね」といいながら満面の笑みで食べられていました。職員からはささやかですが、日頃の気持ちを込めた手作りメッセージカードをプレゼントさせて頂きました。みなさん目を大きく開けて読んでくださり「ありがとう」と笑顔で喜んでもらえて嬉しかったです。

感謝の気持ちを忘れずに



コロナ禍でできることが限られている中、今回、言葉で日頃の感謝を伝えたことがとても相手に伝わることがわかりました。些細なことかもしれませんが美味しいものを食べたり、室内での遊びを共に楽しんだりして、一人ひとりの笑顔を大切にしてこれからも頑張っていきたいと思います。

斯楽荘

○ユニットの誕生日会

介護士　小野　貴子

私が所属するユニットは定員が10名です。入居者様の誕生日がある月にはユニットの皆さんでお祝いをします。

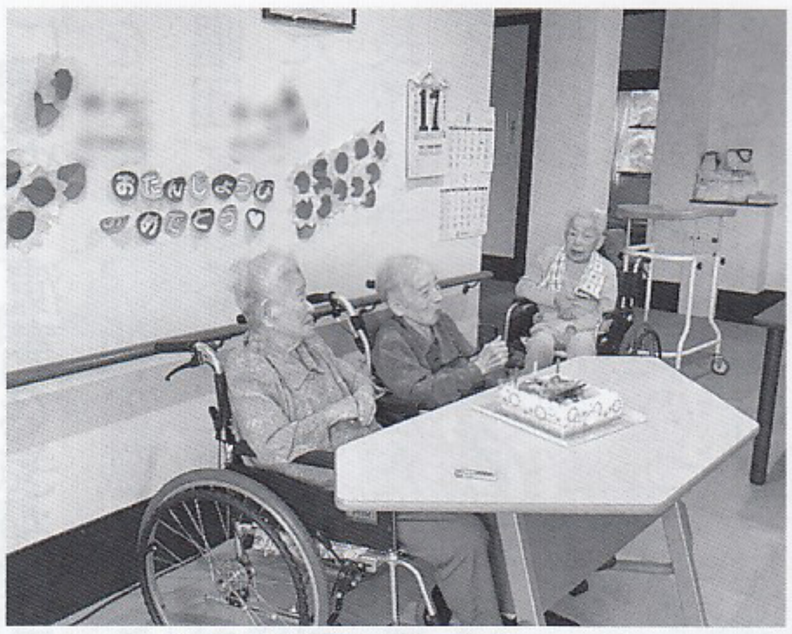
誕生月の入居者様に好きなケーキを選んでもらいます。一番人気は苺のデコレーションケーキです。見た目が華やかなので選ばれることが多いのかなと思います。

誕生日会までに壁の飾り付けをしたり、誕生者の方に回想法を取り入れ、過去の誕生日の思い出を聞き取りします。

「子どもの頃はな、こんな立派なケーキでお祝いなんてしてもらったことなかった。日々の生活で精一杯だった」といろいろと思い出話をしてくださり、大変良い機会になります。

誕生日会はお祝いする方も楽しいらしく、「おめでとう!」と大きな声で盛り上げてくれます。

コロナが収束するまでは、施設の中での行事が多くなると思いますが、1日でも早く「外に食べに行きたい」という希望を叶えてあげたいです。



皆でお祝いしましょう

ベルヴューハイツ

○秋　祭　り

介護士　篠原　京子

9月25日、入所者様へ向けた秋祭りを行いました。室内ではありましたが、皆さんに笑顔で楽しんで頂こうと装飾も頑張って行いました。

内容はたこ焼き・和菓子バイキング・各種飲み物等の食べ物コーナーと、輪投げやボール入れ等のゲームコーナーです。

「私はまだ会場に行けないの？」とはやる気持ちを抑え、ワクワクしながら順番を待っている方、和菓子バイキングでは美味しそうなものばかりで何を頼んだら良いのかなかなか決められない方等、三者三様です。選んだ和菓子やたこ焼きを美味しそうに食べられたり、好きなジュースを飲んだりしながらいつもより笑顔で、おしゃべりも弾んでいました。一方ゲームではいつもと顔つきも変わり、一生懸命ゲームに挑戦する姿が見られました。終了後には景品としてお菓子を選ぶことができ、こちらも満足された様子でした。

この秋祭りで皆さんが少しでも気分転換ができていると幸いです。



まだ食べたいな

ベルヴューハイツデイケア

○手作りの敬老会

介護士　小野　文枝

敬老の日に合わせて、デイケアは9月20日・21日の両日、利用者様の長寿を祝し、ささやかではありますが敬老会を開きました。

例年であれば高校生の吹奏楽や和太鼓の演奏をライブで聴けるのですが、コロナ禍の影響もあり、限られた環境下の中で職員だけでできる余興には限りがあります。何をしようか職員で相談した結果、ハンドベルの演奏と歌を披露することになりました。ところが、実際に練習してみるとハンドベルは大変難しく、職員全員で演奏するのを早々に諦め、演奏できる職員を選抜し、他の職員は合唱団になることにしました。最終的には小島事務長にも参加いただき、歌をプレゼントすることが出来ました。

私たち職員のつたない歌でしたが、利用者様からは、たくさんの笑顔と拍手を頂け、素敵な会になりました。

来年は何を披露しようか今からプレッシャーを感じています。



「瀬戸の花嫁」を熱唱

DSC吉かわ

○吉かわの敬老会

准看護師　居澤　克枝

我らが吉かわの職員が、イケメンミュージカル歌手と女性お笑いトリオに扮し、「僕のヒロインになってくれませんか？」の激しいダンスを披露。何せ平均年齢が…、片足を上げるだけでも転倒しないよう必死。ひきつった笑顔で踊りきり、敬老会がスタートしました。

犬の鳴き声が人の言葉に翻訳されるコント「愛犬ジョン」。送迎車に恰幅の良い利用者が横並びになった時を表現したり、コロナ禍なのでマスクを着用しようとしてアイマスク状態になってしまったりなど、実際の日常の様子を反映させたコント「吉かわの悲しいとき」。さらには我儘な女社長を中心に様々な人間模様が描かれるコント劇「この恋を止められるか」と、怒涛の展開にヤジあり笑いありと大いに盛り上がりました。

詳しくは十月一日発行の吉かわだよりをご覧いただきたいです。ただし、ご利用いただかないと見れませんけども。



「これはオリンピックかん？」

麗楽荘

○壁面工作で紅葉狩り

施設ケアマネ　彦坂　麻梨奈

夏のような暑さが10月半ばまで続いたかと思いきや、その後急激に気温は下がり、心地よい秋風を感じる間もなく冬が来たのかと錯覚をおこしそうな変な気候です。

さて、秋といえば「紅葉」。新城市の鳳来寺山のもみじ祭りが有名です。鳳来寺山は紅葉の名所で11月になると紅葉狩りを目当てに多くの人で賑わいます。新城市で暮らしてきた入所者様の中にはこの秋のイベントを楽しみにされてきた方も多いのではないでしょうか。

コロナ禍により実際に山へ足を運ぶことはかなわなくても、施設の中で紅葉狩りを行えるようにと壁面工作を行いました。

折り紙で作る紅葉は少し難しかったようで四苦八苦していましたが、折り終わると、「かわいいじゃん」「きれいに出来たじゃん」と入所者様の顔がほころびます。

本格的な紅葉の季節を迎えるまでに少しずつ折り紙のもみじを増やして素敵な壁面飾りで秋を感じたいと思います。



賑やかになりました

デイサービス麗楽荘

○彼岸に咲くから彼岸花

介護士　神谷　晃紹

新城市にある麗楽荘に異動となって数年が経ち、田畑や山の緑の風景は見慣れました。しかし、９月中旬頃だけは緑の中の鮮やかな赤が僕の目を奪います。彼岸花です。

彼岸花は別名「曼珠沙華」と言い、「天上の花」という意味です。中国から来たものが北海道から沖縄まで広がったそうです。毎年、お彼岸の時期になると咲きますね。


土手一面の彼岸花

彼岸花の群生は新城の人には見慣れた風景かもしれませんが、豊橋ではこんなに咲いているのを見たことがないです。

そんな彼岸花をペーパークラフトにしてみました。画用紙を切って丸めて貼るだけですが、「綺麗だねぇ」「これ画用紙?」「意外と簡単だね」と利用者様に一風変わった彼岸花を楽しんで頂くことができました。


上手にできました

和光ハイム

○クラフトバンド教室②

相談員　川上　裕之

前回の機関誌「作楽」では土台作りまでを掲載。今回は飾りを作りその飾りを土台に付けてゆく作業です。

飾り付けとして花を三種類「菊・バラ・桜」作ります。どれも大変そうですが、まずはそれぞれの花びらから作ります。

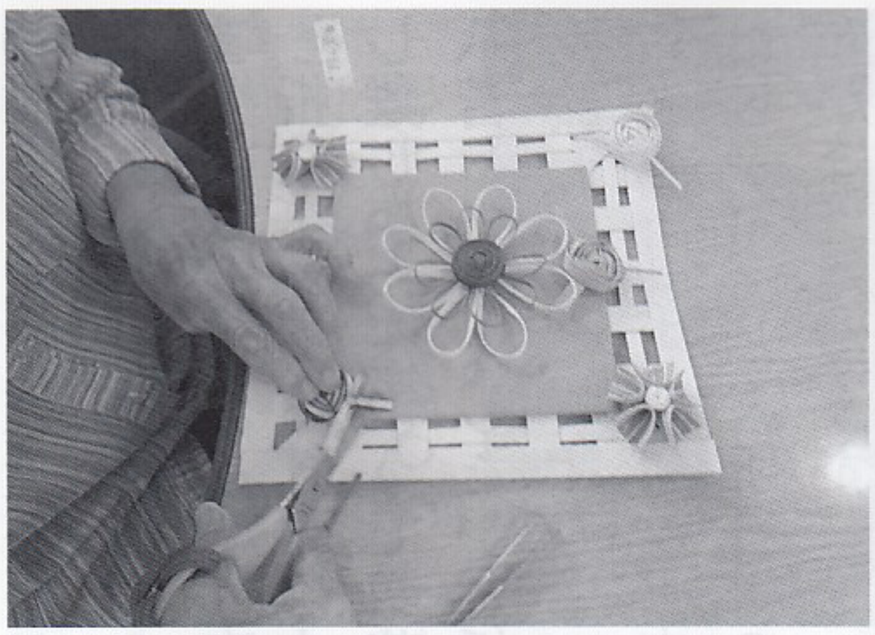
バンドのひもを輪の形にしてボンドを付けて洗濯バサミで留めます。これを八つ作ります。

次は、今できた花びらより小さめの花びらを作ります。小さくなるので先ほどより難しくなりますが、皆さん難無くこなされていました。

次は花の中心の芯を作ります。バンドのひもをグルグルと丸めてまとめて行きます。ボンドで留めて乾かします。

「はい！出来た」と入居者様の作り始めた時の不安な顔は何処へやら、二つ目三つ目になると余裕の顔が見えてきました。

いよいよ最終章へ向けて花びらと芯を付け合わせます。それを土台に飾り付けて出来上がりです。


いい感じ、これはここか

GHうらら

○彼岸おはぎ作り

介護士　谷口　秀代

「春のぼたもちはこしあんで作り、牡丹のように大きく丸くします。秋のおはぎはつぶあんで、萩の花のように小さく上品に俵型に作ります。魔除けである小豆を使用し、ご先祖様にお供えします」などと、話をしながら今年も秋のおはぎ作りが始まりました。

まずは炊きあがったご飯をつくのですが、少し粒が残るくらいでの説明に、「はんごろしだね」と入居者さんの声で大盛りあがり。つきすぎて餅状態になってしまい、また大笑いです。

次はいよいよ本番の作業で、俵型に丸めたものをあんこで包んだもの、中にあんこを入れ、きな粉をまぶしたものを作ります。あんこが片寄ったりもしましたが、お店にだしてもいいくらい立派なおはぎが出来上がりました。小さかったり、ちょっと大きめだったりしましたが、味は上等で皆さん完食。

昔話をしながら、楽しいひと時を過ごすことができました。



早く食べたいや～♪

奇楽荘

○施設内研修に参加して

看護師副主任　瀬野尾　紀子

八月十九日、アンガーマネジメントの研修に参加しました。講師は麗楽荘の鈴木荘長で、怒りをコントロールするスキルについて講義して下さいました。

職場・家庭で怒りの気持ちが生じても、コントロールする事が大切です。「怒りの原因は相手ではなく、自分の中にある」とあり、ハッとさせられました。「こうあって欲しい」と自分の価値観を作り、その通りにいかないと、怒りが生じます。誰かにイライラさせられたわけでもありません。その怒りは自分自身が生み出しているのです。

怒りのタイプには「公明正大タイプ」「博学多才タイプ」「威風堂々タイプ」「天真爛漫タイプ」「外柔内剛タイプ」「用心堅固タイプ」の六種類あるそうです。ちなみに私は外柔内剛タイプで、外見は穏やかに見えるが、確固たる自分の意志を持っているタイプのようです。

怒りがわいたら、六秒間数える。その場を離れる。「～するべき」という考えをやめ、何もかも一〇〇％を求めない。なかなか難しいです。

不必要な怒りは他人との関係も壊してしまいます。上手に怒りをコントロールして、ストレスが溜まらない生き方をしていきたいです。

GHきらら

○百寿のお祝い

介護士　田中　綾乃

九月一日に利用者様が百歳を迎えられました。百年というと大正・昭和・平成・令和の年号をまたいで生きて来られ、とてもすごいことだと感じます。そんな特別な日のお祝い事を楽しんでいただき、かつ記憶に残るような会にするにはどんな企画が良いか職員一同で考えました。

当日の昼食時、大きな寿司桶に大きく〝祝〟の文字と〝１００〟の数字を海苔と桜でんぶを使って描き配膳しました。寿司桶いっぱいの文字を見て、とても驚かれ感激されていました。

普段とは違い他の入居者様にも手伝っていただき、開始の挨拶や祝辞などを皆さんにも読んでいただきました。一番の盛り上がりは手作りケーキへの入刀式です。

アイデア満載の会は大変盛り上がり、ご本人が思わず立ち上がって涙を流されながら御礼の言葉を述べられました。それを見て私も感動しました。

百寿本当におめでとうございます。



百寿お祝いケーキへ入刀

本部日誌

令和3年9月
15日　本部会議(於 作楽荘)

令和3年10月
13日　理事会(於 作楽荘)
　　本部会議(於 作楽荘)
27日　評議員会(於 作楽荘)

作楽荘日誌

令和3年9月
3日　福岡地区民生委員定例会 包括(於 福岡地区市民館)
6日　地域包括支援センター現任者向け研修(リモート会議)
8日　中野地区民生委員定例会 包括(於 中野地区市民館)
11日　寿司祭り
13日　給食会議
19日　誕生日会
20日　長寿祝賀会
　　敬老会食(～21日)
21日　職種別会議〈主任ケアマネ〉(渡邊副主任於 リモート会議)
23日　秋分の日
28日　職種別会議〈社会福祉士〉(有馬主任・大塚副主任 於 リモート会議)
29日　誕生日会食
30日　シニア食とお口健康講座 包括(於 南陽地区市民館)
　　連絡会議

令和3年10月
6日　中野地区民生委員定例会 包括(於 中野地区市民館)
8日　福岡地区民生委員定例会 包括(於 福岡地区市民館)
11日　給食会議
13日　寿司祭り
14日　作楽荘、美光ハイム合同防災訓練
15日　身体拘束廃止委員会荘内研修
　　認知症サポーター研修 包括(於 中野小学校)
17日　誕生日会
18日　包括業務打合せ会(於 豊橋市役所)
19日　職種別会議〈主任ケアマネ〉(渡邊副主任於 大清水センター)
20日　職種別会議〈保健師職〉(鈴木 於 福祉村)
26日　誕生日会食
　　職種別会議〈社会福祉士〉(有馬主任・大塚副主任 於 市役所)
28日　連絡会議

美光ハイム日誌

令和3年9月
2日　茶道クラブ
5日　カラオケ練習会(5・12・14・19・26・28日)
8日　書道クラブ
10日　筋力低下予防体操
13日　美光教室
14日　カラオケクラブ(28日)
16日　華道クラブ
17日　手作りぶどう狩り
20日　敬老会・定例会
21日　健康体操クラブ

倶楽荘日誌

令和3年9月

27日　健康チェック

令和3年10月

3日　カラオケ練習会(3・10・12・17・24・26・31日)
7日　茶道クラブ
8日　美光教室
12日　カラオケクラブ(16日)
13日　書道クラブ
19日　健康体操クラブ
21日　華道クラブ・秋を楽しむ会
25日　定例会・健康チェック

GHくら日誌

令和3年9月

29日　倶楽荘連絡会議

令和3年10月

1日　誕生日会(ABユニット)
27日　倶楽荘連絡会議
31日　ハロウィンイベント

斯楽荘日誌

令和3年9月

6日　連絡会議
17日　秋祭り(Cユニット)
20日　敬老会
21日　防災訓練
29日　アドラー心理学(小山　リモート研修)

令和3年10月

30日　連絡会議(於　作楽荘)

ベルヴューハイツ日誌

令和3年9月

7日　職種別会議(堀内主任　リモート会議)
9日　ケアマネ研修会(堀内主任　リモート会議)
16日　介護予防大会実行委員会(羽田　於　豊橋市役所)
19日　誕生日会(3F)
20日　長寿祝賀会(2F)
　誕生日会(2F)
25日　秋祭り
26日　誕生日会(2F)
28日　職種別会議〈社会福祉士〉(菅沼　於　豊橋市役所)
　運営推進会議(堀内主任　リハデイよしだがたリモート会議)
29日　職種別会議〈保健師〉(山崎・羽田　リモート会議)

令和3年10月

4日　連絡会議
7日　Bユニットミーティング
8日　イベントランチ(そうめん)
14日　運動会
18日　Bユニット誕生日会
26日　メンタルヘルス研修(榊原副主任　於　豊橋商工会議所)
28日　連絡会議(於　作楽荘)

DSC吉かわ日誌

令和3年9月

11日　感染対策委員会
13日　虐待防止委員会
20日　～季節の花週間　敬老会
25日　ミーティング
28日　防災委員会

令和3年10月

11日　～季節の花週間　感染対策委員会
13日　虐待防止委員会
5日　防災訓練
　職種別会議(堀内主任　リモート会議)
7日　介護予防大会実行委員会(羽田　於　豊橋市役所)
14日　ケアマネ研修会(堀内主任　リモート会議)
17日　誕生日会(3F)
18日　業務打ち合わせ会(堀内主任・菅沼・山崎・羽田　リモート会議)
19日　連絡会議
　運動会(3F)
22日　介護予防大会実行委員会(羽田　リモート会議)
24日　誕生日会(2F)
26日　職種別会議〈社会福祉士〉(菅沼　於　豊橋市役所)
27日　職種別会議〈保健師〉(山崎・羽田　リモート会議)
30日　運動会(2F)

麗楽荘日誌

令和3年9月

2日　令和3年度第1回新城保健所管内栄養士会研修会(守田主任　リモート研修)
10日　ご長寿取材(東愛知新聞社)
13日　寿司祭り
14日　給食会議
17日　連絡会議・入所判定会議
20日　長寿祝賀会(於　4F集会室)
21日　愛知県老人福祉施設協議会第3回施設長会議(鈴木荘長　リモート会議)
22日　衆議院議員選挙不在者投票事務説明会(今泉主任・鈴木　リモート説明会)
24日　誕生日会食

令和3年10月

5日　花火鑑賞会(於　中庭)
7日　施設事業者向け高齢者虐待防止に関する勉強会(川崎　於　新城文化会館)
16日　運動会
18日　芸能慰問(金田「ひよこ」様)
19日　防災委員会
22日　習字教室(佐藤征子講師)
23日　ミーティング



和光ハイム日誌

令和3年9月
1日　和の会
2日　健康診断
6日　茶臼山定期受診
10日　テイクアウト昼食
20日　長寿祝賀会
23日　健康チェック
27日　和光喫茶

令和3年10月
12日　もっくる新城移動販売(26日)
　寿司祭り
　給食会議
15日　連絡会議・入所判定会議
20日　書道クラブ(加藤美代子講師)
　秋の運動会
27日　誕生日会食
　接遇マナー委員会荘内研修(電話対応について)

GHうら日誌

令和3年9月
4日　和の会
　茶臼山定期受診
8日　親睦会
　運動会
14日　体操教室
18日　バスハイク
20日　書道教室
23日　避難訓練
31日　健康チェック

令和3年10月
11日　認知症介護実践者研修(夏目主任、12日)
23日　サツマイモ掘り
28日　認知症介護実践者研修(夏目主任、29日)
30日　誕生日会

奇楽荘日誌

令和3年9月
5日　J笑門訪問販売(毎週土曜日)
10日　お芋祭(鬼まんじゅう祭り)
18日　誕生日会
20日　敬老会
23日　お彼岸(おはぎ作り)

令和3年10月
3日　J笑門訪問販売(毎週土曜日)
6日　天ぷらパーティー(秋を味わおう)
21日　誕生日会
27日　奇楽荘運動会(ボッチャを楽しもう)

GHきらら日誌

令和3年9月
7日　訪問診療(宇利)
9日　訪問診療(吉祥)
20日　敬老会(麗楽荘)
21日　GHきらら敬老会
23日　運営推進会議
26日　俺ん家食堂
30日　防災訓練

令和3年10月
5日　訪問診療(宇利)
7日　訪問診療(吉祥)
18日　秋の収穫祭
24日　俺ん家食堂
26日　寿司祭り

職員募集中

◆介護士・看護師（豊橋・新城）
◆正職員およびパート職員
友人・知人紹介
大歓迎です！
本部事務局
☎(〇五三二)四八―五一一五

作楽荘グループ・BVHグループ・麗楽荘グループ・

施設概要・ブログ等を公開

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK
環境にやさしい植物油インキを使用しています。

編集後記

十月二十六日に秋篠宮家長女の眞子さまと小室圭さんが婚姻され、はれて小室眞子さんになられました。これまでの道のりは紆余曲折ありましたが、若いお二人がブレることなく当初の気持ちを強く持ってここまで来たことは素晴らしいことだと敬服します。

「初志貫徹」、一貫性をもつことの尊さをあらためて思い起こさせてくれました。私自身もこの若人に学び、今一度、ブレない芯をもって法人運営に参画していきたいと思います。

さて、私がこの原稿を書いている時はまだ選挙結果は出ていませんが、この国のリーダーとなった政党には、一本筋の通った政治運営を期待します。有権者一票の声です。

（T・S）